

# プロジェクターにつないで動画を視聴する

小・義（前期課程）5年 国語「古典芸能の世界—語りで伝える」

教師が1台使用

## 本時の目標

我が国の古典芸能である落語の特色を理解することができる。



## タブレット端末を活用するねらい

落語など古典芸能を動画で観ることで、古典芸能の特色を理解しやすくする。

## 育成を目指す情報活用能力

- ・複数の観点から情報の傾向と変化を捉える（知識・技能）
- ・目的に応じた情報メディアにより情報収集し、情報を整理する（思考・判断・表現）

## 〔学習の実際〕

	学習場面の概要	学習の様子またはタブレット端末画面
導入	1 古典芸能について知る。 古典芸能にはどのような特色があるか考えよう。	 <p>落語のしぐさ</p> <p>いもを食べる</p> <p>そばを食べる</p> <p>書く</p> <p>手紙を読む</p> <p>読む</p> <p>戸をたたく</p> <p>寒い</p> <p>暑い</p>
展開①	2 落語の特色や表現方法について写真から考える。 ◎ 教科書を撮影したものを黒板に拡大提示する。	教科書を撮影したものを映し出す。
展開②	3 落語の特色や表現方法について動画を視聴してから考える。 ◎ 教科書のQRコードの動画を黒板に映し出す。	
まとめ	4 落語の特色についてまとめる。 落語は声の調子や体の動きなどで様々なものを表現したり「落ち」で効果的に笑いをさそったりする。	落語の動画を視聴する。

### ○ 児童生徒の変容（感想・授業中の様子・発言）

落語を見たことがない児童が多かったため、動画を観ることにより落語がどのようなものかを知ることができた。

### ○ 活用する上でのポイント

動画などは教科書に準じたものの方がより効果的である。